

ナラティブ・メディア研究会 第9回研究会

「コマ割りまんが」はどこから来たか

ホガース、テプフェールの出現と、
その背景としての近代ヨーロッパ文化史

ササキバラ・ゴウ

(佐々木 果)

概要：現代的なコマ割りまんがの父といわれるテプフェール (Rodolphe Töpffer: 1799-1846) や、彼に大きな影響を与えたホガース (William Hogarth: 1697-1764) に注目し、その背景となった近代ヨーロッパ文化史を探る。コマを並べる表現の歴史を「物語画」と「表」という2つの異なった潮流から検討し、両者の合流点としてのホガースやテプフェールの意義を明らかにする。そこで浮き彫りにされるのは、コマ割りにおける「時間から関係へ」という考え方の変化である。

2010年3月8日(月) 16:00~

東北大学文学部 3階 中会議室

(川内南キャンパス)

ササキバラ・ゴウ (佐々木 果)

評論家、まんが編集者。横浜国立大学ほか非常勤講師。著書に『美少女の現代史』(講談社現代新書, 2004), 『教養としての まんが・アニメ』(大塚英志との共著, 講談社現代新書, 2001), ロドルフ・テプフェール『ヴィユ・ボワ氏』(復刻と翻訳, オフィスヘリア, 2008)。

どなたでも興味のある方の来聴を歓迎します (事前申し込み不要)

問い合わせ先:

情報科学研究科 森田直子 (morita@media.is.tohoku.ac.jp 電話 022-795-4788)

文学研究科 森本浩一 (xkc-m2rt@sal.tohoku.ac.jp 電話 022-795-5969)